



第41号

新潟市秋葉区新津東町
1丁目12番9号

新津工業高等学校内
同窓会事務局

TEL0250(22)3441



ごあいさつ

同窓会長 岡村 茂

会員の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも同窓会活動に際しまして、皆さんから一方ならぬご支援をいただき感謝と御礼を申し上げます。

の歴史の中、学科改編や学級数の増減や学科の閉科などがおこなわれてきました。

さて、本年度予定しました本会報もお蔭様でめでたく発行することができました。是非、御披見ください。

ところで、今世間では「改革なくして成長（前進）なし」と言う言葉が良く使われますが、正に高校（教育）改革が求められております。特に、県下における公立高校で盛んに進められております。この状況下、我が母校においても、創立四十五年

の歴史の中、学科改編や学級数の増減や学科の閉科などがおこなわれてきました。

平成十七年三月には電子科の閉科そして今年三月には電気科の幕がおろされたところでもあります。電子科卒業生同様電気科OBの方々は、後世に残すべき意義ある行事事業をおこないたく計画し実行に移されました。ここに、関係した多くの方にあらためて御礼を申し上げ、これからスタートする我が母校を見守りつつ時には最大限のご声援を送りたいものと強く感じております。また、この事業において、本年「生徒海外派遣研修制度」を創設しました。

外国に派遣し、その実情等を見聞することにより、生徒の視野を広め資質の向上を図り、国際的な視野と感覚を身につけた生徒を人材育成の推進方に努めたいという趣旨で計画されたものです。基金は、記念事業で取り組んだ事業募金を基金として、同窓会が主体となり運用・管理するものです。このため、より円滑な実施を図るために、同窓会と学校・PTA・後援会組織から選出されたオプザーバーを加えた十五名による推進会議を設け、初年度の今年は研修地を中国上海市と定め生徒募集により四名を選考決定し実行したところです。なお、この研修報告を本紙に掲載しましたので、ご覧ください。向後も、継続実施のできるよう、さらに検討を加えてまいる所存であります。生徒諸君、ご期待ください。では、皆さん、くれぐれも御自愛ありますよう祈念します。



新潟県立新津工業高等学校
「電気科」閉科記念式典時の記念写真
(平成18年11月11日撮影)



ビスタ&イノベーション

学校長 小野塚 純 夫

一 生徒海外派遣研修

ビスタと聞いて、マイクロソフトパソコンの新しいOSと、トヨタの車を、連想すると思います。ここ近年、もうひとつ新しい意味が加わりました。

VISTA (ビスタ)、ベトナム (Vietnam)、インドネシア (Indonesia)、南アフリカ (South Africa)、トルコ (Turkey)、アルゼンチン (Argentina) の頭文字の連結で、

高成長のための条件を備えた有力新興国、つまり、国に勢いがある証しということです。世界には、このような国が台頭してきています。

この度(8・29～9・1の三泊四日)同窓会の支援で、中国上海方面の工場見学や、上海工業専門学校の視察を行いました。同窓会関係者五名の引率案内で、三年生四名が参加しました。また更に、十月四日には、全校生徒の前で上海研修紀行報告会を行い、生徒達が肌で感じた中国の印象を語る会を行いました。アジアの中の日本は今後どのような、ポジションで活躍

していかなければならないかを、若い時に見聞することは、将来の貴重な財産になるものと思います。同窓会の新企画に、感謝申し上げます。

二 電気科の閉科

平成十八年十一月十一日

(土) 電気科の閉科式を行いました。全国的に工業高校が必とされた昭和三十年代、四十年代の日本の社会から、現在では大きく変化が生まれました。時代は常に、明日に向かって動きます。ドラマの舞台と同じで、一幕が閉じただけで、二幕目の始まりがあります。ここ新津の地で技術者、技能者を養成した歴史と実績は、新しい工業高校の幕開けと思つてほしいと思います。

三 学科の改編

イノベーション

(Innovation) という言葉がよく使われるようになりました。簡単に言えば、技術革新ですが、新製品の開発、新生産方式の導入、新市場の開拓、新原料・新

資源の開発、新組織の形成などによって、経済発展や景気循環がもたらされる意味があります。このイノベーションの示すところを意識しつつ、平成二十一年に、学科改編し、新しい工業高校になる予定です。現在様々な取組を模索しております。

平成十八年度からスタートした、インターシップ(企業内体験)・デュアルシステム(企業内実習)は、平成十九年度には、一年生全員七十八名、協力企業三十一社、三日間のインターシップを体験しました。

二年生十名は、十日間のデュアルシステムを、昨年同様取り組んでおります。

特に今年、新潟薬科大学の応用生命科学部と、工業高校との新しい連携が始まりました。

教育には、不易と変革の両輪があります。変わってはならない部分と、変える部分のしつかりとした棲み分けの中で、見えてくるイノベーションがあるものと思っております。

生徒海外派遣研修を終えて

推進会議事務局長 齋 藤 靖

一昨年の電気科閉科式典の大きな柱として行われた「生徒海外派遣研修基金」の創設に伴い集めて頂いた資金にて、今回の研修が行われましたことに際し、ご寄付戴いた皆様を始め関係各位には心より御礼申し上げます。

第一回目の実施として夏休みの最終週となる八月二十九日から九月一日までの3泊4日の行程にて生徒4名と引率者5名の計九名で中国上海市へ出かけて参りました。

主な視察研修内容として陽路駅までの「リニアモーターカー」の乗車体験。

②中国国家級重点学校に指定されている工業系学校「上海大眾工業学校」への表敬訪問。

③二年前に完成した「F1サーキット場」並びに「上海汽車博物館」の施設見学。

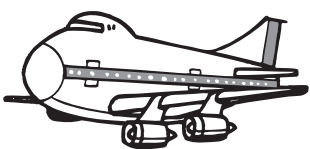
④中国独資の工業部品製造工場「上海徐浦標準件有限公司」の見学を行ってまいりました。

他にも上海の歴史的建造物や博物館など、各種施設への見学

ができたことは、文化や芸術に關しても大変有意義な経験になったと感じています。

紙面の関係もあり、視察に關する詳細報告は出来ませんが、希望を持って参加した生徒達だけでなく、同行した九名全員が個々で感じ方や考え方は異なるにせよ、「世界の工場、世界の市場。中国」の実情と様々な格差を実感することができ、中国へ行つたことで日本を見直す良いチャンスにも繋がりが、将来何らかの形で今回の訪中研修が役立つのではないのでしょうか。

今回の「生徒海外派遣研修」実施にあたり、ご苦勞頂きました関係者に感謝し、このすばらしい海外研修が第二回以降も実施できますよう皆様からの更なるご協力をお願いいたします。



海外研修を終えて

三年二組 石川直輝

僕は今回、上海へ行く前はとても不安でした。全く言葉も通じない海外だったので、食べ物や、治安などが心配でした。でも行ってみると、とても治安もよく、食べ物も一つ一つがとても美味しくて、つい食べすぎてしまいました。今回とても心に残った事は、上海の夜景です。着いた初日は時間も夕方だったので、リニアモーターカーに乗り空港から街の中心部へ向いました。そして有名なテレビ塔の見える川の対岸で夜景を見ました。そこではとても多くの観光客がいて混雑していました。その夜景は200万ドルの夜景だと言われています。景色に感動していると、偽ブランド物などを売りつけてくる人や、お金をめぐんでくれという人などが話しかけてきます。上海へ行って観光地やレストランの前などでは日本人などを見つけると、みんなよって来ます。そういう人たちには絶対に物をあげてはいけません。今回上海に行って思った事はそういう高層ビルが建っている下でお金をめぐんでくれと言われて、貧富の差がとても激しいんだと思いました。今回の上海の旅は色々な経験が一度に沢山できて最高でした。

海外研修で感じたこと

三年二組 佐久間 和明

私は三年生の夏に中国研修に行きました。上海空港に着き、暑かったのが印象に残っています。リニアモーターに乗って時速四百キロのスピードは振動が無く、とても乗り心地がよかったです。上海は地震が無いそのためか立体交差点の柱がとても細く、日本の柱の1/2くらいだと私は思いました。

私は中国と言えば自転車のイメージがありました。自動車やバイクのほうが多く道路はいつも渋滞していて驚きました。

1日目の夕食後に見に行った二百万\$の夜景は上海中心部の建物全体がライトアップされており、とても綺麗で感動しましたが、夜景の写真を撮っていると、コップを持ったおばあさんが、困った顔をして、「お金」と言ってきました。一度お金をやると、ほかの人も来るからできればお金はやらないほうがいいと事前に聞いていたので、知らんぷりするのには、胸が痛みました。

上海のねじ工場を見学してきました。おもに、ビルや橋などに使われるボルトやナットを製造していて、一日に約百tの生産ができるそうです。機械は古いけど、やっていることは技術のある仕事だと感じました。さまざまな経験ができ、とても充実した研修旅行でした。

海外研修を終えて

三年一組 森山貴人

僕が中国に行って一番最初に思ったことは、建物がでかいということでした。高層ビルが立ち並び日本とは比べ物にならないくらいスケールの違いがありました。しかし、作りは粗悪なものが多かったです。空港ではきたばかりなのに雨漏りしていました。

中国の食べ物はとてもおいしかったです。料理は全体的に油っぽいのですがサッパリとした素麺といっしょに食べると良いです。僕はチャーハンと小籠包がとくに好きでした。料理の後には絶対スイカが食べられます。水はおいしくないので、言うか飲めません。とても泥くさく、うがいすらできません。一番印象に残っていることは中国雑技団です。テレビでしか見たことがなかったのですが、一度生で見たいと思っていました。生で見ると感動しました。そして、勇気をもらいました。

泊ったホテルもとても良かったです。そして通訳の朶さんも良い人でした。とても充実した四日間でした。

僕は中国上海への研修旅行に行つて本当に良い思い出になりました。人生にとっても役立つ体験ができたと思います。また行きたいです。ありがとうございました。

海外研修で感じたこと

三年一組 田邊公一

私は始めて海外へ研修へ行きました。初めて中国の上海へ行って人の多さと交通マナーの悪さにとっても驚きました。上海には各国からの旅行者がいて、日本人もいればアメリカ人など本場に人の多さには驚きました。交通マナーは、上海市内では人やバイクもそうですが車が多くて渋滞ばかりでした。渋滞の中でも上海の人は平気で割り込んできたりするので、それから横断歩道でも人がいれば止まらなさいけないのに人がいても構わず通っていくんです。私は事故が起きてもおかしくないと思いました。

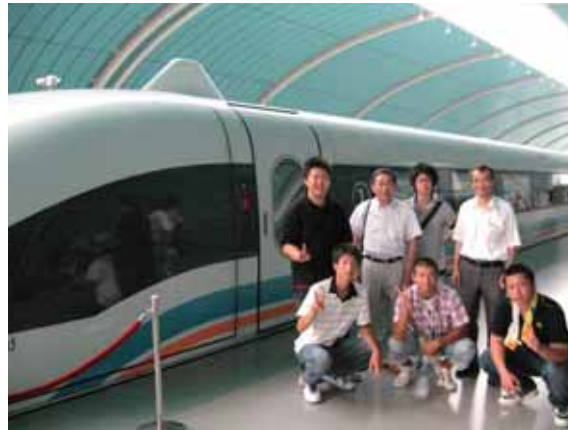
次に感じたことは上海の工業高校の事です。工業高校を見学して感じた事は、私たちと人数が違い、作っている機械などがとても多かった事です。作る物も私たちと違いとても難しそうだなあと思いましたが見ていました。上海の工業高校のみんなはやる気がある私たちにはない高度な技術を持っていることが実際に見てわかった。日本人の工業高校生も負けられないと思いました。

今回の海外研修はとて為になり、さまざまな事が学べたと私は思いました。今の上海の企業や工業高校の現況を自分の目で見れてよかったです。

海外研修先での一コマ



結団式での研修生たち



リニアモーターカー登乗記念



歴史的建築物の並ぶ
上海外灘地区



上海大众工業学校の副校長と



上海徐浦標準件有限公司にて



有限公司の工場内視察



本場中国の
四川料理を楽しむ



上海汽車博物館にて

上海豫園見学

東方明珠TV塔見学



砂利碎石採取製造販売

有限会社 富士建材

阿賀野市六野瀬 2 4 3 6 - 1

☎ 0 2 5 0 - 6 8 - 2 8 9 0

越後天然ガス(株)認定工事店
新潟・五泉市上下水道指定工事店

 有限会社 丸和工業

本 社 新潟県五泉市大字船越 1 3 6 番地 1
TEL (0250) 4 2 - 4 6 0 6 (代表)

FAX (0250) 4 2 - 5 5 7 2
営業所 新潟県新潟市秋葉区新津(山谷北) 5154番

TEL (0250) 2 2 - 8 4 2 8
FAX (0250) 2 2 - 7 7 0 9

貝沼政志 (13回機械科卒) 長谷川勝二 (18回機械科卒)

新津工業の思い出



岩 淵 盛 之

笠原 由 博

(第一回電気科卒)

会 員 雑 感

今も思い出すこと

同窓会員の皆様こんにちは。

今年の三月、新津工業高校三十八年間の教員生活を無事に終えて定年退職を致しました。長い間、お世話になり心より感謝しています。退職して早いもので六ヶ月が過ぎました。最初の頃は退職した気分になれず、学校へ行かねばの思いが多々ありました。長年の習慣でしょうか。

ところで先日、同窓会より会報の原稿依頼がありました。新津工業を思い出しながら一筆書きたいと思います。最初に私が勤務した頃の新津工業は、機械科、電気科、電子科の三科、全学年二十四学級の大規模校でした。集会、行事等になると、その迫りに圧倒される思いでした。当時の新津工業は新設校でしたので、何事にも伝統校に追いつき、追いつけが合言葉で全職員、生徒が一丸となって、学習、部活動、資格検定に取り組んでいました。特に電気科では電気工事士の資格取得に向けて夏休み

の大半を補習に費やして指導し、毎年、多くの合格者が出たと記憶しています。新津工業の黄金時代だったでしょうか。

しかし、時代の流れとはいえ電子科に続いて、電気科も今年の三月、四十年の歴史に終わりを告げました。現在の新津工業は二年後の学科改編に向けて新しい学校作りがスタートしています。県の工業教育充実プランにのっとり、一、インターンシップ(就業体験) 一年生、二、デュアルシステム(企業実習) 二年生、等企業と学校が連携して取り組んでいます。これから大きな飛躍を期待しています。最後に同窓会のさらなる発展を祈念いたします。

私が原稿依頼を受けて、直ぐに浮んだのは確か二年生の時、朝の授業開始前の一コマである。新津駅から歩いて来て教室に入ると私の机の上に誰かの鞆が無造作に置いてある。「この鞆誰の鞆？」と周囲に言ったが返事がない。教室には半分位の仲間が既に入室していた。私はならば、と鞆を教卓の上に置いた。持ち主は気付いて慌てるだろうと思った。私もそのことを忘れてしまひ始業ベルが鳴って朝の限目の授業。T先生が入って来て、教卓の鞆を見つけ、「これは誰の鞆だ!!」と一言。誰も答えず、T先生一段と声を荒げて「誰のだ」。K君が頭を掻きながら「俺のです」と前が出る。T先生「お前がやったのか」、K君「いいえ違います」「じゃ誰がやったんだ、お前だろう」「いいえ」T先生他の生徒を見渡して「誰がやったんだ」。誰も答えず。そうだよ俺がやったんだもの、これはマズくなった。私の心の中は段々と呼吸と体が大きく揺れる。T先生は誰も反応も無いので苛々して強い語調

で「誰がやったんだ!!」。私は益々、手を上げ難くなって来て追い込まれた気持ち。早く手を上げるべき、しかし、もう上げられない。今度は手を上げられない自分を自分が責める。心の中は自分と自分の戦いでパニックの様相。その事を周囲に知られぬ様に顔を作って三重苦。T先生も諦めて終った。十年程前の同窓会だったかの機会にK君に詫びたがK君は記憶に無いとのこと。私は今も忘れられず残る大切な傷である。

長 谷 川 学

(第十回電気科卒)

~~~~~

我が校は学科改編の道を選択と新聞紙面に載り、閉科式へ出席し懐かしい顔を拝見する。十期生は校風も年月が浅く風紀を重んじる教職員の意思も堅固で、校則にそぐわない者は厳しく××された。私達はそれが当たり前だと思っていたし、教職員は聖職者だと思っていて、人権を振りかざす者も居らず、それが自然の成り行き時代の時代だった。当時、楽しみだった飛翔祭や体育祭の駅伝?等は三年に一度、全校クラス対抗サッカーやバレー

ーボールも楽しみでした。恥ずかしかったのは、水泳の授業に小さ過ぎる競泳パンツを穿かなければならなかった事で、流石に硬派な者も何故か男同士なのに渋々手で前を覆いながら出て来たものだ。部活も盛んで三年次には野球部は三度の県大会準決勝進出と言う、礎を築く初めの甲子園の夢を与えてくれた。(卒業後、帰省する上野駅で名前は忘れたが野球部で捕手をしていた小柄な彼に出会い立ち話をした) 三度目は娘が六日町高の応援だったが、私は勿論我が母校!バスケットかサッカーは全国を蹴って修学旅行へ行っただった。我が軟式テニス部も頑張っていたし(笑) 柔道は授業で実技試験が有るので払い腰だけ必死に練習した。現在は、湯沢町のこぢんまりしたスキー場で「ペンしょんたまはうす」を営み、姉さん女房に一男(嫁)一女・孫二人を授かり「長女はバンクーバー冬季オリンピック・アルペン出場を目標にしています」記憶の片隅にでも置いて下さい。



### 同 窓 会 役 員

- 会 長 岡 村 茂 (1 M回生)
- 副 会 長(企画担当) 吉 野 真佐信 (2 M回生)
- 副 会 長(組織担当) 長谷川 貢 (4 M回生)
- 副 会 長(総務担当) 高 塚 則 明 (8 e回生)
- 副 会 長(財務担当) 石 黒 利 幸 (14 e回生)
- 書 記 長 斎 藤 靖 (20 e回生)
- 書 記 次 長 昆 昌 喜 (11 e回生)
- 会 計 監 査 島 倉 弘 文 (3 M回生)
- 会 計 監 査 藤 原 繁 (5 e回生)
- 幹 事 玉 木 健 二 (事務局)
- 幹 事 渡 辺 光 (事務局)
- 顧 問 小 柳 新 一 (1 E回生)
- 顧 問 間 勇 雄 (1 M回生)
- 顧 問 斎 藤 久 (2 E回生)

※評議員26名も役員ですがスペースの関係で本号に掲載できませんでした。

※役員任期は平成18年12月 1 日から平成23年11月30日までの 5 年間  
※正会員数11,020名(H19.3末現在)

### 平成18年度末 平成19年度始 教職員〔特別会員〕の異動状況

- 〔転出〕
- 村上 敏明(教頭) 塩沢商工高校へ
- 小竹 博昭(社会) 生涯学習推進課
- 社会教育主事へ
- 小山 哲也(数学) 県立高等養護学校へ
- 平田 直樹(機械) 高志高校へ
- 鳥井 克巳(電気) 長岡工業高校へ
- 齋藤 満(電気) 高志高校へ
- 富樫 友希(養護) 村上市立上海府小学校へ
- 高木 智子(英語) 英智ウイール学院高等学校へ
- 〔退職〕
- 橋崎 則宗(機械) 岩淵 盛之(電気)
- 柳 留吉(体育) 宮崎 勝平(事務長)
- 〔転入〕
- 大湊 卓郎(教頭) 吉田 行香(社会)
- 林 眞男(数学) 風間 忠樹(機械)
- 佐藤 康子(養護) 渡辺 光(機械)
- 佐藤 哲夫(機械) ヴオトロー・智子(英語)
- 小林 道子(家庭)

個人でも企業でもサークルでも

### 同窓会報の広告掲載の募集

一枠3,000円です。この機会に是非PRを!

\*詳しいお問い合わせは

《同窓会事務局》まで

### 編集後記

日が短くなり、朝晩の冷え込みが感じられることとなりました。

昨年行われました電気科閉科記念事業の大きな柱の一つ「生徒海外派遣研修」も、今夏に実施されました。研修に参加した後輩達には高校在学中の大きな思い出と、これからの人生になんらかのプラスになったものと思います。

今回、会報発行にあたり、お忙しい中、御寄稿いただきまして皆様に對しまして厚くお礼申し上げます。

終わりに皆様のご健勝と、益々のご活躍をお祈りいたします。

(高塚)

### 新潟県立新津工業高等学校同窓会の ホームページをアクセス してみてください。

学校の情報とあわせて同窓会からの情報を発信していますので、ぜひご利用ください。

平成19年12月1日開設

【ホームページURL】

<http://www.nin.ne.jp/~hisyou>

### 有限 長谷川設計

代表取締役 長谷川 貢 (第5回機械科卒)

〒959-2113  
新潟県阿賀野市緑岡 2 3 1 - 5 7  
TEL(0250)67-4192 FAX(0250)67-2976  
E-mail:chosan33@blue.ocn.co.jp

### 株式 システム技研

代表取締役 石 黒 利 幸 (第14回電子科卒)

〒950-0863  
新潟市東区卸新町 2 丁目 2 0 6 6 番地 7  
TEL(025)256-6711(代) FAX(025)378-1550  
E-mail:ishiguro@nisisygi.co.jp